ノロウイルス浴槽感染防止について

（平成 25 年 3 月 12 日 老健局ノロウイルス浴槽感染通知文）

石川県老人福祉施設協議会役員会
日時：平成 26 年１月２２日　午後 1:00
場所：石川県社会福祉施設館内

NPO 完オゾ協議会
協力：㈱トミキライフケア
石黒産業㈱　金沢支店

平成２５年３月１２日 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 通知

『高齢者介護施設における感染対策マニュアル』 53P より抜粋

「（ノロウイルスは、）場合によっては、井戸水、入浴中に排便してしまったときの浴槽水によっても感染が起こることがあります。」

福山市ノロウィルス対応マニュアル(施設編・家庭編)

「2-(6) 入浴時の感染防止対策及び浴槽の管理」 より抜粋

◆「ノロウィルスに汚染された浴槽水が感染経路となることがあります。」

◆浴槽水の管理
④浴槽水の遊離残留塩素濃度は0.2～1.0mg/Lに保つこと
（広島県公衆浴場法施行条例で定められた基準）
※入浴者が多い場合、あるいは温泉水や入浴剤を使用する場合、塩素がより多く消費され、消毒効果が定価するので塩素濃度の管理に注意すること

←対レジオネラ
200ppm以上必要

人体への影響を考えると、浴槽水中のノロウイルス塩素殺菌管理は事実上不可能（1000 倍の塩素濃度）

福祉施設職員ら
食中毒対策学ぶ
徳島市で研修会

徳島県老人福祉施設協議会（中村博彦会長、二百七十八施設）は二十六日、徳島市内のセンチュリープラザホテルで「感染防止・衛生管理研修会」を開き、会員施設の看護職員や栄養士など約九十人が参加した。

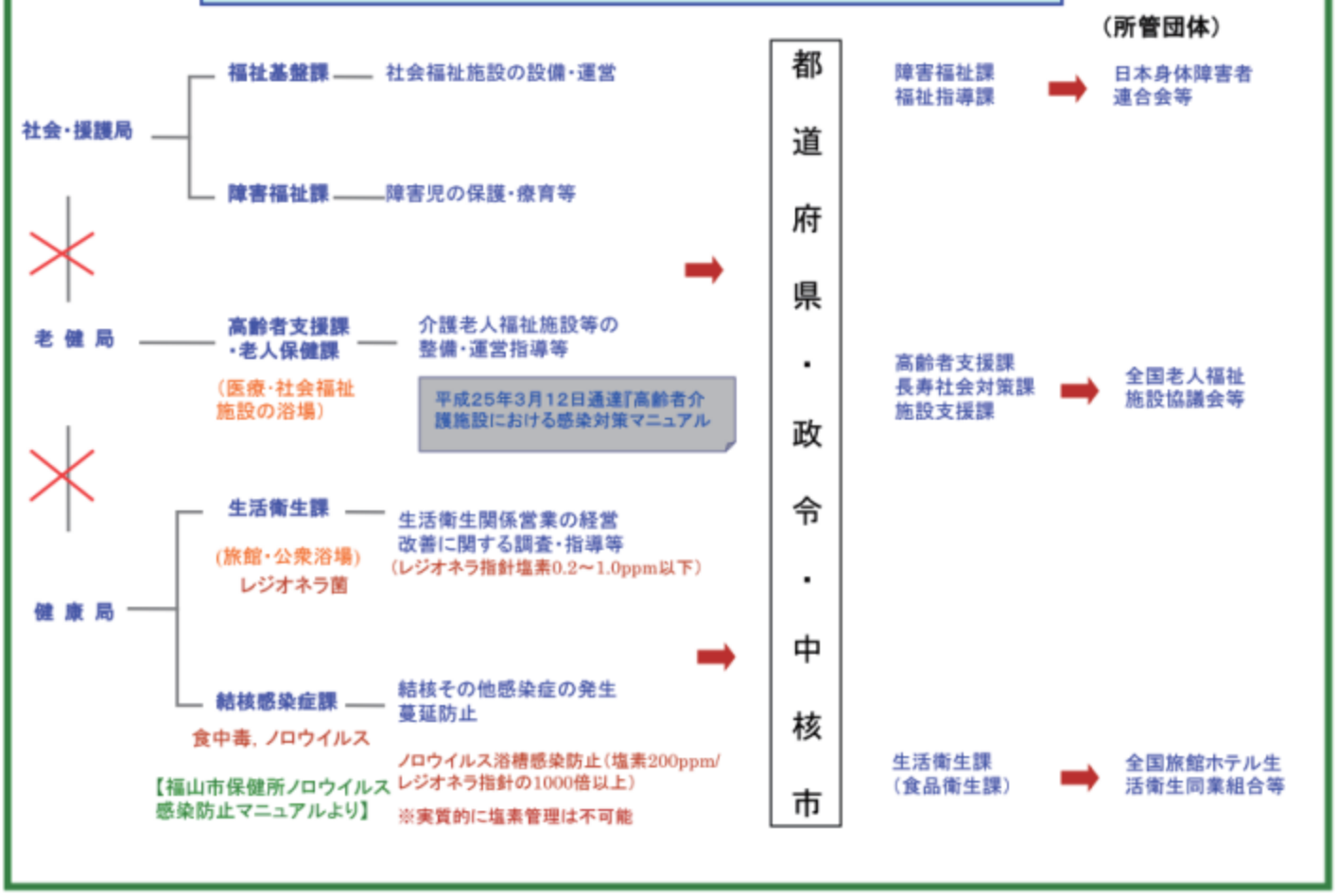
冬場はノロウイルスによる食中毒が多発するシーズンで、研修会では、徳島保健所の職員が「嘔吐（おうと）物などに触る場合は使い捨ての手袋を使ってほしい」などと食中毒対策について説明。共同浴場でも感染するケースがあるため、オゾンによる殺菌システムの普及を進める団体が、実例をもとに浴槽の湯を長期間取り換えずにすむ仕組みを報告した。

参加した三加茂町加茂の管理栄養士山下江津子さん(三)は「情報を持ち帰り、施設で衛生管理を徹底していきたい」と熱心にメモをとっていた。

'17.12.27
徳島新聞

平成 17 年 12 月 7 日徳島新聞で、徳島保健所職員より
ノロウイルス共同浴場より感染の可能性指摘

入浴衛生施設の厚生行政のしくみ（厚生労働省）



I. 目的

●資源の有効活用

長期間に渡り、浴槽水の入換えを必要とせず、資源の有効活用に役立てるシステム

●感染対策

常時、飲料水レベルの水質に維持することが可能なシステム

II. 機器（完全オゾン処理型の性能・条件）

※ 完全オゾン処理型循環ろ過システムとは、以下の条件をすべて満たすシステムをいいます。

●完全なオゾン殺菌のため、オゾン濃度は 0.3ppm 以上で 120 秒以上接触の全量一括処理方式である事。

●バイオフィルム対策のため、常時、飲料水レベルの水質を確保する事と、システム停止時の細菌の繁殖を防止するための補助薬注装置が付いている事。

●産業廃棄物の発生防止のため、熱処理による排オゾン処理装置を設ける事。

●消耗品の削減のため、ろ材の入換えが不要な、ろ材を使用する事。

●緊急時には、浴槽水を飲料水として利用可能なシステムを追加できる事。

III. 工事区分

●ユニット方式で2次側配管・配線を機器に組み込んで納入するため、特殊浴槽と同等に施主契約が可能です。なお、一次側は建築工事代に含まれます。

IV. 図面（設計図書）への明記方法

「完全オゾン処理方式（完オゾ方式）」

●本製品は、厚生労働省の資源有効活用整備費（厚生省社援施・第153 号）補助金対象機種です。補助金申請の際には、補助金の適正使用のため、図面（設計図書）への「完全オゾン処理方式（完オゾ方式）」の記載表記をお願い致します。

完オゾ導入施設　とさの里

「完オゾ」ろ過器で飲料水レベルの水質管理を

平成９年、浴槽水の長期利用および施設排水から地域環境を保全する事を目的に、厚生労働省社会援護局、老健局の資源有効活用補助金を活用して、市高齢者総合福祉センターに「完オゾ」ろ過機器を導入し、運用しています。施設利用者の皆さんには完全オゾン処理の技術で飲料水レベルに浄化された水質で入浴を楽しんでいただいています。

平成13年には、入浴施設のレジオレラ菌感染問題の調査のため、完全オゾン殺菌のレジオレラ殺菌検証について衛生研究所、食品衛生協会および関係者の皆さんに連携協力しました。

また近年、ノロウイルス集団感染が問題になりましたが、施設利用者の皆さんには安心して利用いただいています。

お問合せ先　市高齢者総合福祉センター
（℡８５２－２２００）

高知県土佐市　とさの里様では、平成９年に資源有効活用整備補助金を活用（老健局より 1/2, 高知県より 1/4）して完オゾを、特養１階一般浴，特養２階家族風呂，デイサービス一般浴へ導入頂き、デイサービスでは現在１ヶ月換水で完オゾを運用頂いております。

完オゾ特浴

第２６回日本環境汚染学会発表
横浜市衛生研究所調査

横浜市内の高齢者福祉施設の、約１０％の特浴からレジオネラ菌検出

- 循環配管内の清掃が困難
- 配管内にバイオフィルムが付着
- 塩素に耐性

第26回日本環境汚染学会総会
The 26th Annual Meeting of Japanese Society of Environmental Infections
口演：一般討演　1-O-34-5

社会福祉施設の機械浴槽環境におけるレジオネラ属菌の検出状況

横浜市衛生研究所 検査研究課

○荒井　桂子

【目的】2009年に横浜市内の1行政区内の社会福祉施設を対象にレジオネラ属菌（L菌）の調査を行い、中央循環式給湯水や循環式浴槽水から菌が検出されたことを報告した。今回は横浜市内全域の施設で、肢体が不自由なヒトが利用する機械浴槽を対象に調査を行った。【方法】(1) 対象：特別養護老人ホーム等67施設の機械浴槽77基。(2) 試料：機械浴槽水61、貯湯槽水24、給湯水46、浴槽壁面ふきとり（WP）68、貯湯槽壁面WP40、シャワーヘッドWP35の全274試料。(3) 検査項目と方法：L菌を培養法、リアルタイムPCR法（PCR法）で測定。【結果・考察】全274試料のうち培養法で11施設20試料（検出率7.3%）、PCR法で16施設33試料（12%）からL菌が検出された。L.pneumophila SG1, 2, 3が分離された。浴槽水、貯湯槽水、給湯水は培養法で1試料、4試料、0試料から、PCR法では5試料、6試料、1試料からL菌が検出された。浴槽壁面WP、貯湯槽壁面WP、シャワーヘッドWPは培養法で5試料、8試料、2試料から、PCR法では9試料、10試料、2試料からL菌が検出された。機械浴槽内は気泡発生装置の配管などが配置されており、貯湯槽は開口が狭くて深いため、清掃作業を考慮した構造になっていなかった。また、浴槽水をすべて排出しても菌が残る構造の機械浴槽も存在した。機械浴槽は多くのレジオネラ症ハイリスクグループが使用することから、製造メーカーへの情報提供を含めた早急なレジオネラ症防止対策が必要と考える。

科学技術振興機構が協賛団体

完オゾ特浴導入３年目劣化診断

機器の劣化、配管内のバイオフィルムの付着無し

完オゾ特浴補助金対象
（障害福祉サービス事業所・障害者支援施設・福祉型障害児入所施設）

第五次改正　社援発 0517 第５号
平成 24 年５月 17 日
厚生労働省・援護局長　通達
『社会福祉施設等施設整備費における介護用リフト等特殊附帯工事の取扱いについて』
（申請先）
都道府県自治体または、政令・中核市の担当課

湯面垢取り装置『アカパス』導入実績例

完オゾ導入施設 北海道くりのさと
（株式会社伊藤医科器械店）

鳥取県老健施設デモ設置
（株式会社北陽エンヂニア・サービス）

大阪府特別養護老人ホームデモ設置
（綜合メディカル株式会社）

滋賀県デイサービス導入
（株式会社メリコ）

エネルギー使用合理化事業者支援事業
（経産省完オゾ省エネ補助金対象）
完オゾシステム省エネ3点セット

完全オゾン処理（完オゾ）型ろ過機
厚生労働省資源有効活用補助金対象
経済産業省完オゾ省エネ補助金対象
（南箕輪老人ホーム）

浴老社協完オゾ導入施設開発協力 ＜特許出願中＞

浴槽中ノロウイルス・レジオネラ菌対策及び
省エネ（保温）対策シート（越百園）

【申請要項】

○完オゾ導入後、省エネ率1%以上または、年間使用重油量を原油換算で500kl削減のいずれかを達成の場合、事業費の1/3まで補助金（100万～50億円）が受けられます。
○過去1年の使用エネルギー量との比較が必要なため、新設の温浴設備では無い事。
○申請事業者は法人格を有する団体であること。
○現在既設の入浴設備に国庫補助金が使用されている場合は、耐用年数経過等で償却可能な設備に限ります。（国以外の団体の補助金は可）
○既設塩素ろ過機、特浴への完オゾ後付け、既設塩素ろ過機、特浴自体を完オゾに入換え、どちらも完オゾ省エネ補助金の対象となります。

ノロウイルス浴槽感染防止研修事例

徳島県老人福祉施設協議会 主催

日　時：平成 17 年 12 月 26 日（月）13:30 ～ 15:30
場　所：徳島市センチュリープラザホテル
日　時：平成 18 年 2 月 16 日（金）14:00 ～ 14:20
場　所：アスティとくしま

社会福祉施設におけるノロウイルス浴槽水感染防止への研修会

主催：高知エコデザイン地方議員連盟
平成 19 年 2 月 7 日　香美市立地域福祉センター（プラザハ王子）

ノロウイルス感染防止研修会（秋田県）

秋田県老人福祉施設長研修会Ⅱ

日　時：平成 25 年 2 月 7 日～ 8 日
場　所：ホテルメトロポリタン秋田

鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合　主催

日　時：平成 25 年 11 月 20 日（水）
場　所：ホテルセントパレス倉吉

高知県老人福祉施設協議会　主催　四万十市特別セミナー

講師　中田 清　顧問
日　時：平成 25 年 11 月 21 日（木）
場　所：新ロイヤルホテル四万十

大阪府社会福祉協議会　主催　常任委員会

日　時：平成 25 年 11 月 26 日（火）
場　所：薬業年金会館 205 号室

【問合せ／デモ機貸出】

㈱トミキライフケア
〒920-0061 石川県金沢市問屋町 2-74
TEL：076-237-0708 FAX：076-237-1901
http://www.tomiki-lc.com/

石黒産業㈱ 金沢支店
〒921-8801 石川県野々市市御経塚 4 丁目 95 番地
TEL ： 076-249-1496　FAX ： 076-240-2494
http://www.ishikurosangyo.co.jp/

NPO 完オゾ協議会　http://www.kanozo.jp/
事務局長 川竹 大輔　　説明 元久 敦雄

参加企業　㈱エコロジーサイエンス
http://www.terao-kochi.co.jp/